

基本研修（講義）

日程		時間割	科目	受講時間数（時間）					
第 1 日目	2月3日(火)	10時～15分	オリエンテーション						
		10時15分～11時45分	1 人間と社会						
			①介護職員と医療的ケア ②介護福祉士等が喀痰吸引等を行うことに関わる制度	0.5 1					
		12時15分～13時45分	2 保健医療制度とチーム医療制度						
			①保健医療に関する制度 ②医療的行為に関係する法律 ③チーム医療と介護職員との連携	1 0.5 0.5					
		14時45分～18時30分	3 安全な療養生活						
第 2 日目	2月10日(火)	10時～12時30分	①喀痰吸引や経管栄養の安全な実施 ②救急蘇生法	2 2					
			計	7.5					
			13時30分～16時30分	4 清潔保持と感染予防					
				①感染予防 ②職員の感染予防 ③療養環境の清潔、消毒法 ④滅菌と消毒	0.5 0.5 0.5 1				
		5 健康状態の把握							
		①身体・精神の健康 ②健康状態を知る項目（バイタルサインなど） ③急変状態について		1 1.5 0.5					
		計	5.5						
		第 3 日目	2月17日(火)	10時～13時30分	6 高齢者および障害児・者の喀痰吸引論				
					①呼吸のしくみとはたらき ②いつもと違う呼吸状態 ③喀痰吸引とは	1.5 1 1			
				14時45分～18時	④人工呼吸器と吸引 ⑤こどもの吸引について ⑥吸引を受ける利用者や家族の気持ちと対応、説明と同意	2 1 0.5			
計	7								
第 4 日目	2月24日(火)				10時～14時	⑦呼吸器系の感染と予防（吸引に関連して） ⑧喀痰吸引により生じる危険、事後の安全確認 ⑨急変・事故発生時の対応と事前対策	1 1 2		
				14時45分～18時45分		7 高齢者および障害児・者の喀痰吸引実施手順解説			
		①喀痰吸引で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持 ②吸引の技術と留意点	1 3						
		計	8						
		第 5 日目	3月10日(火)	10時～17時30分 （昼休憩 1 時間）	③吸引の技術と留意点 ④喀痰吸引委ともなうケア ⑤報告および記録	2 1 1			
					8 高齢者および障害児・者の経管栄養概論				
①消化器系のしくみとはたらき ②消化・吸収とよくある消化器の症状	1.5 1								
計	6.5								
第 6 日目	3月17日(火)			10時～18時30分 （昼休憩 1 時間）	③経管栄養とは ④注入する内容に関する知識 ⑤経管栄養実施上の留意点 ⑥子どもの経管栄養について ⑦経管栄養に関係する感染と予防 ⑧経管栄養を受ける利用者や家族の気持ちと対応、説明と同意 ⑨経管栄養により生じる危険、注入後の安全確認 ⑩急変・事故発生時の対応と事前対策	1 1 1 1 1 0.5 1 1			
					計	7.5			
		第 7 日目	3月24日(火)		10時～19時 （昼休憩 1 時間）	9 高齢者および障害児・者の経管栄養実施手順解説			
						①経管栄養で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持 ②経管栄養の技術と留意点 ③経管栄養に必要なケア ④報告および記録	1 5 1 1		
						計	8		
						第 8 日目	4月14日(火)	10時～10時15分	筆記試験説明・準備
					10時15分～11時15分			筆記試験	1
		11時15分～12時	採点・採点后結果発表		0.75				
		12時～12時30分	救急蘇生法（講義）	0.5					
12時30分～12時45分	追試準備	0.25							
12時45分～13時45分	追試試験	1							
13時45分～14時	採点・採点后結果発表	0.25							
計	4								

基本研修（演習）

第 9 日 目	4月21日(火)	10時～19時 (昼休憩 1 時間)	救急蘇生法 (演習)	1
			喀痰吸引 (演習)	7
			口腔内の喀痰吸引	
			鼻腔内の喀痰吸引	
			気管カニューレ内部の喀痰吸引	
			計	8
第 1 0 日 目	4月28日(火)	10時～19時 (昼休憩 1 時間)	経管栄養 (演習)	8
			胃ろう又は腸ろうによる経管栄養	
			経鼻経管栄養	
			計	8

実地研修

研修期間	2026年4月29日（水）～2027年4月28日（水）	1. 口腔内吸引（10回以上） 2. 鼻腔内吸引（20回以上） 3. 気管カニューレ内部吸引（20回以上） 4. 胃ろうまたは腸ろうによる経管栄養（20回以上） 5. 経鼻経管栄養（20回以上）
------	-----------------------------	---